

土岐市

市政報告会



はじめに

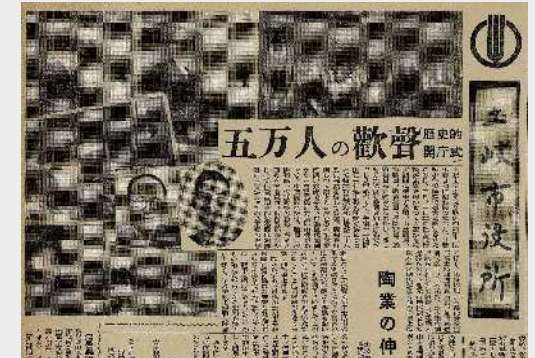
1955（昭和30）年 土岐市が誕生

人口（国勢調査 S30<R2>）

S30：50,626人／10,037世帯 R2：55,348人／21,359世帯
1世帯当たり構成5.0人 1世帯当たり構成2.6人

小学生（土岐市統計書）

S30：6,840人／141学級 R2：2,643人／118学級



2005（平成17）年 東海環状自動車道の開通

工業団地の整備と企業の進出

開通以来、アクアシルヴァでは10社が操業開始

生活圏の拡大

土岐～豊田110分 → 40分（豊田市からの転入）

圧倒的な交流人口

観光入込客数県内1位



2025（令和7）年 土岐市制施行70周年

市民企画イベントや子ども職業体験イベントなど、土岐市の魅力を再認識する機会に。



土岐市制70周年

市政報告会のテーマ

- 01 人口減少対策
 - 02 地域医療を守る 新病院
 - 03 新しい博物館
-

次世代に引き継ぐ
持続可能な地域づくり

地域医療の充実と
文化の発信拠点の創設

生活の質向上と
地域の魅力を高め

「住み続けたいまち」
の実現を目指します

市政報告会のテーマ

01 人口減少対策

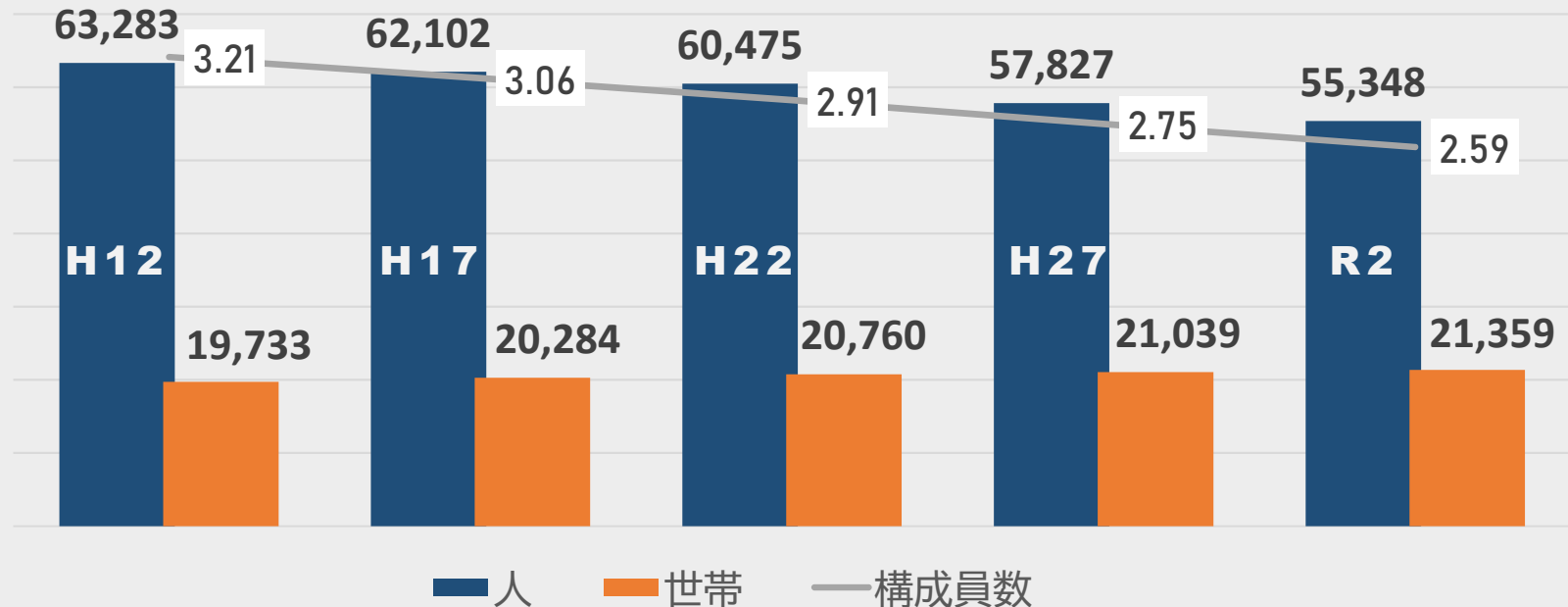
02 地域医療を守る 新病院

03 新しい博物館

01 人口減少対策

人口

人口・世帯数の推移
(出典：国勢調査)



国勢調査人口

2000（平成12）年頃から人口は減少、世帯数は増加傾向

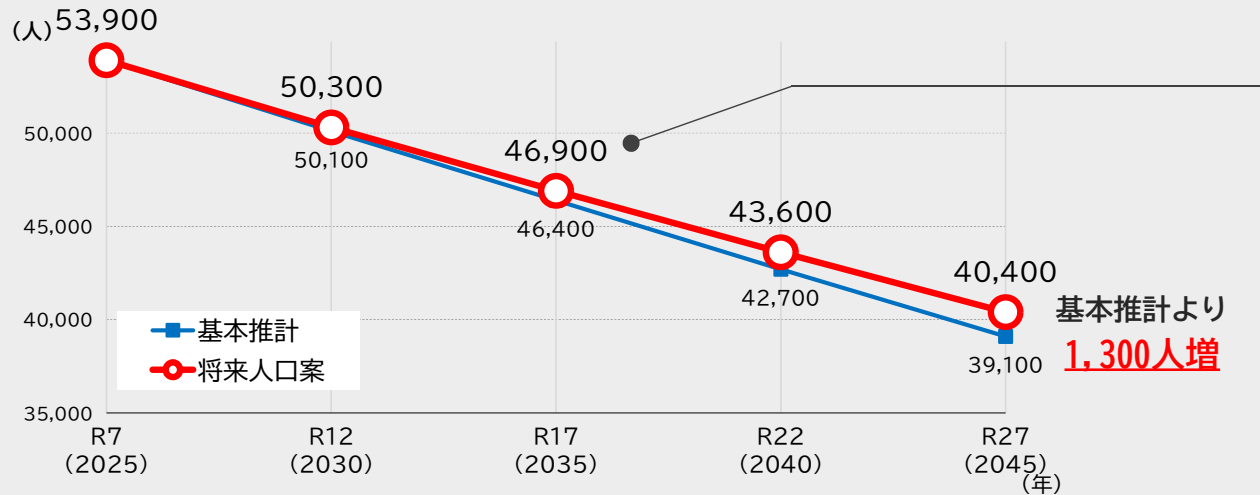
5歳階級別人口は団塊世代の70歳代が最も高く、次に団塊ジュニア世代が高い
外国人登録人口は平成12年以降、増加傾向

合計特殊出生率 令和4年度の合計特殊出生率 **0.99**



土岐市独自の推計（基本推計）では、10年後の令和 17（2035）年に 46,400 人、
20 年後の令和 27（2045）年に 39,100 人の総人口を予想

01 人口減少対策



令和27（2045）年の総人口4万人を維持するため、令和17（2035）年の総人口46,900人を目標人口に。

目標人口を達成するため、少子化対策や子育て世帯の支援、転入促進・転出抑制の施策を重点的に実施

（第七次土岐市総合計画基本構想）

高校生・大学生

専門の講師による
ライフデザインの
セミナーを開催

結婚

出会いの場を創る
イベントの開催

市内小中学校の卒業
生が開催する同窓会
費用を補助

新婚生活のスタート
アップ費用を支援

妊娠・出産

不妊検査の費用を
助成

不妊治療の費用を助成

お子さんが生まれた家庭
におむつチケットを支給

子育て

18歳までのこどもの
医療費を助成

翌年小・中学校に入学する
お子さんのいる家庭に入学
応援準備金を支給

保護者の就労に関係なく
希望する施設を利用できるよう、
認定こども園を整備

市政報告会のテーマ

01 人口減少対策

02 地域医療を守る 新病院

03 新しい博物館

02 地域医療を守る 新病院

地域医療の現状と課題

- ・ 直面する課題

医療従事者の不足、高齢化社会の進展

- ・ 求められる取り組み

住民の健康を守るための新たな医療施設の整備



地域医療の重要性

地域医療は住民の健康と安心を支える基盤。

地域に根差した医療環境を整備することは、地域全体の活力と持続可能性を高める重要な要素になります。

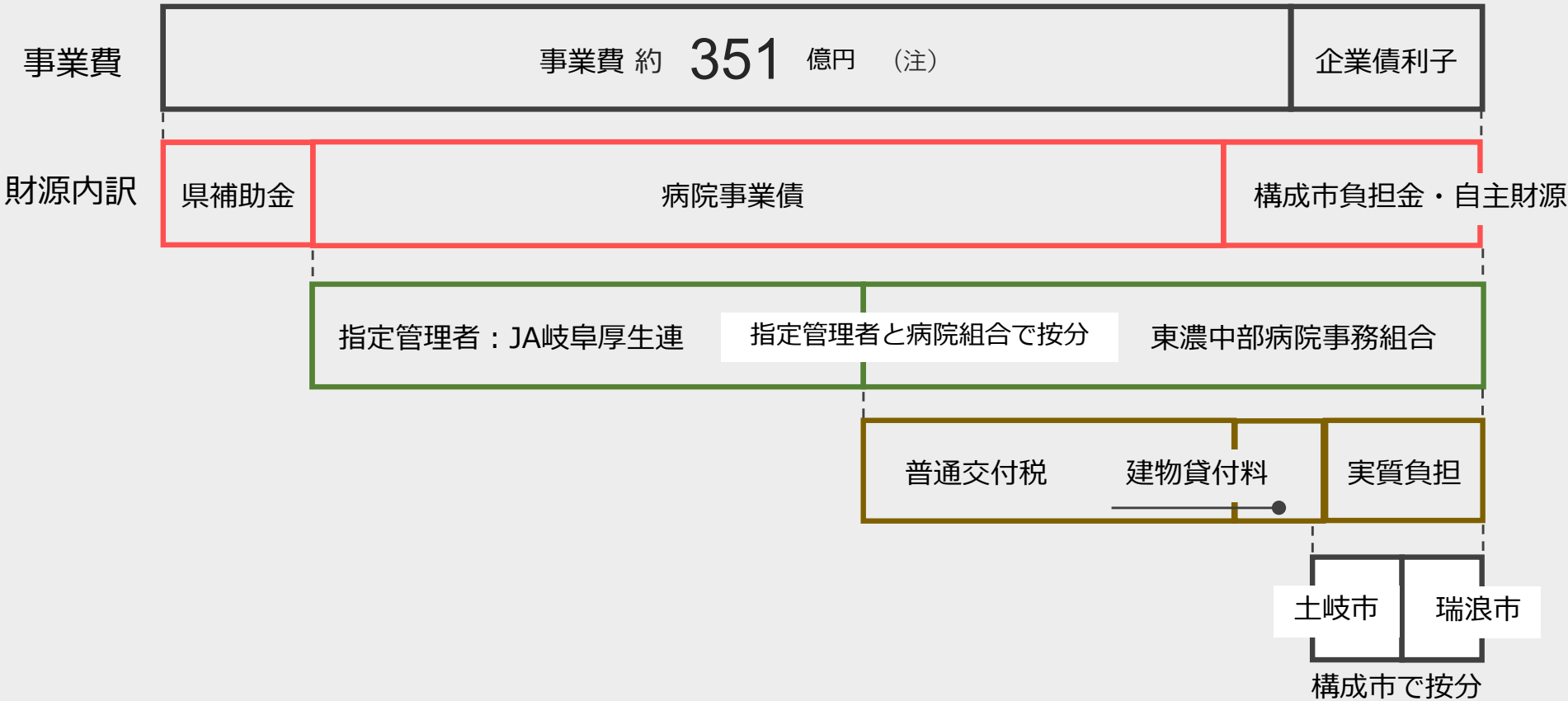
02 地域医療を守る 新病院

東濃中部病院事務組合 相関図



02 地域医療を守る 新病院

事業費と財源



事業費に対する構成市（土岐市・瑞浪市）の実質的な負担を軽減する仕組み

(注) 事業費は令和7年6月21日時点のシミュレーションした値

02 地域医療を守る 新病院

(名称) 公立東濃中部医療センター



地区唯一の二次病院

400床・36診療科

(令和7年6月30日時点)

災害時にも診療を継続
できる施設・設備

地域住民の「頼りがいのある病院」

令和8年2月開院(予定)

市政報告会のテーマ

01 人口減少対策

02 地域医療を守る 新病院

03 新しい博物館

03 新しい博物館

旧

土岐市美濃陶磁歴史館

歴史館 1979（昭和54）年 開館

収蔵機能：旧文化会館1972（昭和47）年建設

美濃桃山陶を中心に・・・

美濃焼の歴史を語る陶器を展示

国指定重要文化財を含む多様な収蔵品

周辺には重要な史跡が点在

・・・課題



03 新しい博物館

土岐市の文化資源を巡る現状と課題

▶ 歴史館の機能不足

開館から40年以上が経過した旧美濃陶磁歴史館は、建物・設備が老朽化。展示や収蔵に必要な機能が不足し、約2400点の重要文化財をはじめ保有する文化財の価値を伝え広め、将来へ受け継ぐには厳しい環境でした。

▶ 駅周辺のにぎわいや市域周遊の不足

土岐プレミアム・アウトレットは県内最多の観光入込客数があるものの、市域全体への周遊などの波及効果は限定的。土岐市を訪れても広く深く知る機会に至らない観光の課題の一つです。

▶ ふるさとへの愛着の希薄化

R5年度市民意識調査では、「今後も土岐市で暮らしたい」と回答した10代が25.0%、20代が36.1%にとどまり、若年層を中心にふるさとへの愛着が希薄化していることが伺われます。

03 新しい博物館

これまでの動き

令和2年度
(2020年)

土岐市新歴史館
構想懇談会 (3回)

令和3年度
(2021年)

基本構想 ※

令和4年度
(2022年)

基本計画 ※



(基本)
構想・計画
検討委員会

新博物館を設置し現状の改善、課題解決に取り組む

令和5年度
(2023年)

基本設計

令和6年度
(2024年)

- ・実施設計
- ・歴史館解体工事着手

令和7年度
(2025年)

- ・見直し設計
- ・歴史館解体工事

03 新しい博物館

理 念

開かれた扉

豊かな文化資源を蓄え

市民とともに新たな文化を創造し

土岐市の未来をひらく



イメージ図

03 新しい博物館

新しい博物館のめざす姿



1. 美濃焼のランドマークとしての博物館
2. 土岐市の歴史文化を知り、ふるさとへの愛着を生む博物館
3. 多様なつながりやまちのにぎわいづくりに資する博物館

期待される効果

- ◎ 土岐市と美濃焼に愛着や誇りが持てる
- ◎ 子どもたちの教育、学習の場
- ◎ 美濃焼の付加価値向上、産業の活性化
- ◎ 博物館での活動を通して、つながり・にぎわいの創出 etc.

03 新しい博物館

事業費と財源

事業費

約 **33.9** 億円 工事費、備品入費、設計・収蔵文化財移転費など（注）

財源

建設基金

寄附金など

一般財源

借入金

返済額

元金

※
公共施設等適正管理推進事業債（公適債）

利息

（返済に係る）
財源の内訳

1/2

普通交付税（国から市へ交付）

1/2

市の負担額

※ 有利な起債（借金）を財源とし、自主財源だけで建設するよりも市の負担を軽減する仕組み

（注）事業費は令和7年6月時点。今後の物価・人件費の高騰などの要因は加味していません。

03 新しい博物館

財政への影響

財政の健全化を示す 4つの指標

(令和5年度実績)

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 資金不足比率
- ・ 実質公債費比率

該当なし
(赤字等なし)

財政規模に対する
借入の比率

5.1 %

今後、病院事業の事業費を含めても 10 % 前後の見込み

i 増加はしても指標の数値上、土岐市の財政運営に支障をきたすことにはなりません。

03 新しい博物館

建設スケジュール

